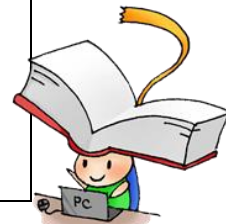


「書くこと」の学習でICTを活用し、子供たちの思考を深めよう

教科：中学校国語編

国語科の「書くこと」の学習において、生徒の思考を深める手段のひとつとして、ICTを活用してみませんか？ICTを用いることで、推敲したり、自己評価したり、意見交流を行ったりすることも容易になります！



※評価規準	
知識・技能	(2)情報の扱い方に関する事項 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解を深めている。
思考・判断・表現	B 書くこと C 書くことにおいて、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して進んで自分の考えを伝えようと、今までの学習を生かして意見文を書くこととしている。

※ この資料では学習指導要領(平成二十九年年度告示)によって評価規準を設定している点にご留意ください。

【単元】根拠を明確にして意見文を書こう（中学校第1学年）

- ①課題を捉える 相手や目的を確認する。
- ②自分の立場を決める どの案がよいと考えるか選択する。

例 スポーツドリンクのキャッチコピーにふさわしいのは、どの案でしょうか？
A スポーツを愛する全人類へ。
B 「全力」高速ダウンロード。
C おいしさは頑張った証です。

課題の設定 ← 情報の収集・整理・分析 ← まとめ・表現

- ③根拠を考え、吟味する
- ④お互いの根拠を検証する
- ⑤意見文を書く
- ⑥完成した意見文を読み合う

コロナ対策にも！

★オンライン会議システム等に付属のツール

- ☆ホワイトボード機能
- ☆フォーム機能
- ☆チャット機能
- ☆ホワイトボード機能
- ☆チャット機能

教師はそれぞれの意見を点検したり、個別に指導助言を行ったり、全員の見解を集約したりすることができます。

生徒も教師もそれぞれの根拠に助言を書き加えることができます。

★文書作成ソフト

直した部分や後から付け加えた部分の文字色を変えることで教師も生徒も文章を書く過程の変化を捉えることができます。

会議システムのホワイトボード機能の使用イメージ

会議システムのチャット機能の使用イメージ

文書作成ソフトのコメント機能の使用イメージ

- データとして残して形成的評価や総括評価に！
- グループや全員での「協働」や「対話」の場面、相互評価の場面に！
- 自らを振り返って自己評価や学習を調整する力に！

【振り返り】身に付けた「意見文の書き方」をどんな場面で生かせるか、生活の場面や他教科で活用する方法を想起する。

